

3. とともに学び・成長できるまち うらやす

(1) 子どもと家庭の健康の保持・増進

事業番号	39	事業名	小中学生と幼児とのふれあい体験等の実施			担当課	保育幼稚園課
計画内容	赤ちゃんと触れ、命や子育ての大切さについて考える機会を持つことを目的に、小中学生と赤ちゃんとふれあい体験講座等を実施します。						
	実施の受け入れ	平成20年実績	実施	平成26年目標		実施	
平成24年度 実施状況と評価	<p>市内小中学校及び高校の社会体験活動の中で、各保育所並びに各幼稚園においてその機会を提供している。</p> <p>【評価】 これから親となる世代に子育ての楽しさやすばらしさを伝えるため、乳幼児との交流を通じてその機会を持つことができた。</p>						
平成25年度 事業予定と 今後の課題	地域と学校の連携の下、体験を通じ豊かな人間性を育成する上で、乳幼児などと交流する機会の提供は必要であり今後も継続していく。						

事業番号	40	事業名	【重点】 青少年ボランティア育成事業		担当課	社会福祉協議会
計画内容	<p>さまざまな経験を通して子どもたちの成長を支援するため、地域における青少年ボランティア育成事業を推進します。</p>					
	夏休み体験説明会 参加者数	平成20年実績	59人	平成26年目標	100人	
平成24年度 実施状況と評価	<p>○夏休みボランティア体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動(広報うらやす・ミニコミ誌への記事掲載、市内中学校・高校・大学への募集要項配布) ・事前オリエンテーション・修了式の実施 ・施設でのボランティア体験 <p>中学1年生以上を対象に青少年にボランティア活動を普及させることを目的とし、夏休み期間にボランティア活動を希望する学生へのオリエンテーションの実施と受入れ施設とのマッチングを行った。</p> <p>参加人数：61名(中学生43名、高校生16名、短大・大学生2名) 受入施設数：19箇所(保育施設13箇所、高齢者施設4箇所、障がい者施設1箇所)</p> <p>○小中学校等でのボランティア体験教室への協力 14校(うち2校は実施予定) ○明海大学ボランティア講座への講師派遣協力 4回</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 夏休みボランティア体験学習参加人数 61名</p> <p>【評価】 今年度より市民活動センターでも同様の事業を実施したことにより昨年度より高校生の参加人数が減少した。また、今年度は学生自身の責任感や自主性を伸ばす目的で学生より受入施設へ直接申込や日程交渉を行わせたが、学生の親が連絡を取っているケースがあり、目的とは異なってしまった部分があるため、来年度の申込方法について検討する必要がある。保育園と学生間でトラブル(園児と遊ばない、園児にケガを負わせたなど)があったことから、オリエンテーションの方法を検討(保育施設希望者と高齢・障がい者施設希望者の内容を変えるなど)する必要がある。また親の同意書を取っているが、トラブル時にはボランティア活動を中止することがある旨を記載した同意書を作成し、トラブル対応の根拠を作る必要がある。</p>					
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>夏休みボランティア体験学習に関しては、本年の反省を受け申込方法等変更して行っていく予定である。本事業が、学生や施設にとって有意義に終えるような工夫を検討する必要がある。また、単発のボランティア活動に終わるのではなく、以降、体験を行ったその施設とのつながりをもってボランティア活動にあたり、ボランティアに興味をもって他の活動を行ったりするきっかけとなるよう、修了した学生への働きかけについても検討する必要がある。</p>					

事業番号	41	事業名	【重点】 青少年交流施設(新浦安カルチャープラザ)における青少年の意欲の創出促進のための事業の充実	担当課	青少年課
計画内容	<p>青少年の社会参加への意欲を創出するため、各種体験教室等を実施するとともに、青少年の自主的活動への積極的な支援を図る。</p>				
	延利用者数	平成20年実績	28,117人	平成26年目標	30,000人
平成24年度 実施状況と評価	<p>青少年の居場所作りとして、マーレ内3階部分に新浦安カルチャープラザを設置し、放課後や休日における青少年の活動・交流を中心として、芸術・音楽・文化をキーワードに、青少年が様々な活動に参加しやすい講座やイベントなど様々な事業を展開している。</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 33,469人 ※一般の利用除く 講座、広場、貸室、イベント含む</p> <p>【評価】 平成24年度より、音楽スタジオの利用促進を図るため、利用料金の値下げを行うなど、さらに青少年が利用しやすいように改善を行った。 また、使用していない部屋を学習室として無料で開放したり、青少年広場を青少年の時間帯に無料開放することにより気軽に集える空間を作っている。 これらを通してより多くの青少年の自主的活動の促進を図っていると評価できる。 今後についても引き続き、青少年の興味関心を引き出せるような魅力的な事業・各種講座を実施していく。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	アンケート等を基に日々業務改善を図りながら、概ね24年度と同様に実施していく。				

事業番号	42	事業名	【重点】 青少年交流活動センター(うら・らめーる)における青少年の自立を促進するための事業の充実	担当課	青少年課
計画内容	<p>青少年の交流活動を通じて、青少年の健全育成を図るため、宿泊や創作、環境等の体験学習活動を展開し、青少年の自立を促進します。</p>				
	修了者数	平成20年実績	33人	平成26年目標	毎年33人養成により拡大
平成24年度 実施状況と評価	<p>指定管理者の提案内容に基づき、青少年の健全育成の促進を図るため、スポーツや文化、季節の各種事業を実施している。</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 3,203人</p> <p>【評価】 平成24年度についても提案書に基づき各種の工夫を凝らした事業を展開している。事業実施後には利用者アンケートをとり、事業のフィードバックを行いながら、改善を図っている。 リピーターも定着してきており、日々のスタッフ対応等の成果であると評価できる。 来年度は指定管理者が変更となるため、利用者サービスが継続をしっかりと図っていきたい。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	指定管理者が変更となるため、スムーズに事業の実施ができるように引き継ぎを確実に行っていく。				

事業番号	43	事業名	ジュニアリーダー研修会によるリーダー育成の実施	担当課	青少年課
計画内容	小学4年生から6年生を対象に、リーダーとして必要な行動力・受容力・表現力を身につけていくことを目的とした研修を行います。				
	延訪問指導件数	平成20年実績	1, 139人	平成26年目標	継続
平成24年度 実施状況と評価	小学4年生から6年生を対象として、リーダーとしての資質の向上を図り、リーダーに必要な知識・技術を習得するための研修会を実施している。 目標 (1) 表現力を身につける (2) 受容力を身につける (3) 行動力を身につける ・全8回の研修会 ・研修生25名(男子10名、女子15名) ■平成25年3月末現在実績値 研修修了者 22名 【評価】 研修を行う中で、研修内容に工夫をこらしながらジュニアリーダーの育成を図っている。今回は、個人の役割をしっかりと認識させる指導をグループ活動の中で実践した結果、各自が自分の役割となっている仕事に責任をもった行動がみられ、成果発表会では、研修で習得した能力を発揮し、スムーズな発表を行うことができた。				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	研修内容を見直し、規範意識を持たせるような内容を取入れること。 全8回の研修、定員32名を予定。				

事業番号	44	事業名	【重点】 こども版広報うらやすの発行	担当課	広報広聴課
計画内容	市内小・中学校長から推薦された児童・生徒からなる「こども記者」が取材・写真撮影・原稿作成・編集を行い、市立小・中学校に配付します。 浦安のことや市の仕事などを、こども記者がこども目線で紹介することで、住んでいるまちに興味を持ってもらうことを目的として発行しています。				
	発行部数・回数	平成20年実績	17,000部×2回	平成26年目標	17,000部×2回
平成24年度 実施状況と評価	広報うらやす3月15日号にこども向けの広報を差し込んで発行した。 また、こども(親子)向けの記事を広報うらやす11月1日号・12月15日号・1月15日号・2月15日号・3月15日号に掲載した。 ■平成25年3月末現在実績値 58,900部 【評価】 こども向けの記事を読んでもらうことで、住んでいるまちに興味を持ってもらうなど本事業の目的は概ね達成されたものと考え。				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	全市立小・中学校が広報紙の製作に携わったことで、一定の成果をあげたところであり、平成25年度は、通常号の広報紙に、こども(親子)向け記事を掲載していく。				

事業番号	45	事業名	青少年活動センター(うら・らめーる)の充実	担当課	青少年課
計画内容	<p>指定管理者における運営について、提案内容の進行状況を見定めながら、利用の促進や市民サービス等について協議を図りながら事業を推進していきます。</p>				
	延利用者数	平成20年実績	36,316人	平成26年目標	38,000人
平成24年度 実施状況と評価	<p>運営については、指定管理者の提案内容に基づきながら、各種のモニタリングを通じ、適正な運営を図っている。</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 35,892人</p> <p>【評価】 震災の風評被害等により、伸び悩んでいた利用者数も、平成24年度に入ると落ち着きを見せ、順調に利用者数を伸ばしている。 指定管理者の地道な営業活動や丁寧な接客等の指定管理者の努力が、成果として現れたと評価している。 次年度は指定管理者が変更となるが、引き続き利用者の声を取り入れながら、利用者サービスを図っていく。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	指定管理者が変更となるため、スムーズに運営ができるように引き継ぎを確実にやっていく。				

事業番号	46	事業名	【重点】青少年リーダー養成事業	担当課	青少年課
計画内容	<p>中学生を対象に、青少年健全活動の中心となるリーダーを養成し、青少年健全育成関係団体と協力しながら青少年の健全育成活動の推進を図ります。</p>				
	講演会延参加者数	平成20年実績	H21より実施	平成26年目標	200人
平成24年度 実施状況と評価	<p>講座を通じて青少年リーダーとして必要な技能を修得させ、体験活動の中から豊かな心を育み、リーダーとしての資質の向上を図ることで青少年健全育成活動における中学生リーダーの育成を図っている。平成24年度は29名の会員数で年11回の研修会を実施している。</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 123人</p> <p>【評価】 平成24年度は23年度に行ったアンケートの結果等を基にして履修方法、プログラム等を再検討して実施をしたこともあり、昨年度と比べ参加者数を伸ばすことができた。 今後についてもプログラムや履修方法等の改善を図りながら、会員の確保を図っていく。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	年10回程度(宿泊研修含む)の研修会を開催予定。 プログラム等の見直し。				

事業番号	47	事業名	青少年館活動事業の充実	担当課	青少年課
計画内容	<p>指定管理者の協定期間満了に伴う新たな指定管理者の指定を通じて、現状の改善を図りながら、より一層の事業の充実を進めます。</p>				
	延利用者数	平成20年実績	40,630人	平成26年目標	42,000人
平成24年度 実施状況と評価	<p>指定管理者の提案に基づき、利用者アンケートを通じて、利用者ニーズを取り入れた事業等を実施している。また、今年度は教育特科事業の初の試みとして聴覚に障がいのある方も楽しめるように手話通訳・要約筆記を取り込むなど事業の充実を図っている。</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 45,191人</p> <p>【評価】 小中学校へのチラシの配布等、事業告知を行ったことで、来館者数、事業参加者数ともに順調推移している。 事業面においては、いるか合唱団の活動の幅が広がったり、教育特科事業では、初の試みとして障がいのある方の参加を取り入れたり、アンケートの実施結果を反映させた事業展開をしている。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>提案書の内容に基づいて計画的に実施。 指定管理の3年目を経過したので、第3者評価を実施予定。</p>				

事業番号	48	事業名	青少年活動支援の推進	担当課	青少年課
計画内容	<p>青少年活動を実施する団体に対して、引き続き補助金交付を行い、側面からの活動支援を実施します。</p>				
	交付団体数	平成20年実績	42団体	平成26年目標	45団体
平成24年度 実施状況と評価	<p>社会教育関係認定団体に補助金の交付を通じて、青少年団体の活動支援を行っている。 ：浦安市子ども会育成連絡協議会、子ども会 39団体、ボーイスカウト2団体、ガールスカウト2団体、浦安市リーダーズクラブ(計45団体) 側面的な支援（様々な事業の支援及び後援）</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 45団体</p> <p>【評価】 子ども会の中には少子化に伴い、活動に苦慮しているところもみられるが、各団体とも工夫をしながら、活動の継続を図っている。 その活動を支援することにより、自発的に地域に貢献する事業を実施や青少年事業への協力など地域での青少年の健全育成につながっている。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>青少年健全育成を推進するにあたっては、青少年関係団体の協力を得ることが大きな推進力となっており、今後も連携を図りながら事業の充実に努めていく。</p>				

事業番号	49	事業名	【重点】浦安市教育ビジョン(浦安市教育振興基本計画)策定事業		担当課	教育政策課
計画内容	義務教育を対象とする浦安市教育ビジョンについては、平成21年度に浦安市教育ビジョン策定検討委員会から答申を受け、平成22年度に教育委員会議での協議を経て策定予定です。					
	交付団体数	平成20年実績	4 2 団体	平成26年目標	4 5 団体	
平成24年度 実施状況と評価	<p>教育ビジョン基本計画5年間の中間年であることから、各事業の進捗状況に基づき、見直し及び修正を行った。その内容を周知するため、市立小・中学校の保護者や教職員を対象とした教育ビジョン概要版を作成し、平成25年4月に配付する予定となっている。</p> <p>【評価】 浦安市教育ビジョン概要版を作成・配付することで、新しい事業や変更のあった事業について、市立各小・中学校の教職員や保護者へ周知を図ることができると考える。 平成26年度まで毎年、各事業の推進及び進捗管理を行っていく。</p>					
平成25年度 事業予定と 今後の課題	学識経験者の意見などを参考にしながら、教育ビジョンの評価方法などについて検討する。 また、平成26年度で教育ビジョンの5年間基本計画も終了することから、平成27年度以降の計画作成についての準備を開始する。					

(2) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境などの整備

事業番号	50	事業名	市立幼稚園3歳児保育の実施		担当課	保育幼稚園課
計画内容	幼児期の学びの環境を充実するために継続していきます。					
	実施園数	平成20年実績	3 園	平成26年目標	5 園	
	定員	平成20年実績	1 2 0 名	平成26年目標	2 5 0 名	
平成24年度 実施状況と評価	<p>24年度も引き続き、5つの公立幼稚園において3歳児保育を実施している。</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 5園 249人 3歳児保育定員 250人</p> <p>【評価】 3歳児保育の実施にあたって必要な職員を確保し、保育を推進している。</p>					
平成25年度 事業予定と 今後の課題	25年度においても、引き続き5幼稚園において3歳児保育を実施する。 今後の3歳児保育の方向性については、就学前施設のあり方検討を進めていくなかで、子ども・子育て新システムや人口推移・保育需要を踏まえて考えていきたい。					

事業番号	51	事業名	小学校及び中学校の整備		担当課	学務課 (教育施設課)								
計画内容	<p>「浦安市における学校配置の適正化に向けての基本方針」を推進するため、学校適正配置等推進委員会を設置し、方針を実施するための手順や、スケジュール等の検討、推進にあたっての課題や問題点を整理検討します。また、高洲地区の児童生徒数の推計を見据え、中学校の適正配置について検討します。</p> <table border="1"> <tr> <td>検討委員会報告 平成20年実績</td> <td>基本方針の策定</td> <td>平成26年目標</td> <td>方針の推進</td> </tr> <tr> <td>学校数(小/中) 平成20年実績</td> <td>17校/8校</td> <td>平成26年目標</td> <td>18校/9校</td> </tr> </table>						検討委員会報告 平成20年実績	基本方針の策定	平成26年目標	方針の推進	学校数(小/中) 平成20年実績	17校/8校	平成26年目標	18校/9校
検討委員会報告 平成20年実績	基本方針の策定	平成26年目標	方針の推進											
学校数(小/中) 平成20年実績	17校/8校	平成26年目標	18校/9校											
平成24年度 実施状況と評価	<p>小学校 18校 児童数 10,707人、学級数 345学級（内特別支援学級 17学級） 中学校 8校 生徒数 4,109人、学級数 117学級（内特別支援学級 9学級） (平成25年3月1日現在)</p> <p>【評価】 入船地区学校統合について、平成27年度の統合に向けて計画をスタートした。入船地区学校統合準備委員会を設置し、具体的な検討に入った。また、入船地区学校統合懇談会を開催し、PTAの代表や学校関係者の代表からの意見をもらった。さらに、大小5回にわたる説明会を開き、計画の周知に努めた。11月には今後の計画推進の参考のためにアンケートを取り、1月には連携推進部会を設置し、学校現場での具体的な課題の検討に入った。学校統合だよりやホームページ等を利用して、計画に関する情報を公開した。</p>													
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>高洲地区の街づくりの一環として、平成26年度の（仮称）第9中学校の開校に向けての準備を進める。 平成27年度の統合を目指して、入船地区学校統合計画を進める。入船地区学校統合準備委員会、懇談会、連携推進部会を継続して機能させ、円滑な統合を目指す。</p>													

事業番号	52	事業名	少人数教育の実施		担当課	指導課
計画内容	<p>市立小・中学校全校に少人数教育推進教員を各校1～5名配置します(学務課)。県費教員と連携し、学習指導や諸活動にきめ細やかな指導を推進していきます。また、当該教員の実践力の向上を目指し、当該教員を対象とする研修会を後期は2回開催します。さらに、当該教員に各学期の実践計画書及び実践報告書の作成を求め、当該教員自身が見通しを持った計画や取り組みができるようにするとともに、その進捗状況を把握できるようにします。</p>					
	少人数教育 推進教員人数	平成20年実績	69人	平成26年目標	78人	
平成24年度 実施状況と評価	<p>市立小・中学校26校全校に、「少人数教育推進教員」を各校1～4名、計58名(中途退職や中途採用を含む)を配置した(学務課)。県費教員と連携し、学習活動やその他学校生活の諸活動で、個に応じたきめ細かな指導の推進に貢献している。</p> <p>また、「少人数教育推進教員」の教育活動の実践力の向上を目指し、当該教員を対象とする研修会を年間6回開催するとともに、当該教員に各学期に実践計画書及び実践報告書の作成を求め、PDCAサイクルにより、個に応じた指導を計画的・継続的・効果的に取り組めるようにしている。</p> <p>実践計画書及び実践報告書については提出を求め、その進捗状況を把握できるようにしている。</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 59人</p> <p>【評価】 配置した「少人数教育推進教員」の中で、習熟度の程度に応じた指導を行った(※「よくやった」及び「やった」の割合)という当該教員は市立小・中学校全体で4割いる。特に小学校では、学級の枠を超えた学習集団による同指導は「よくやった」が1学期に比べ2学期(22%)は9ポイント増加し、授業の充実が図られている。「昼休みや放課後等に、補充的な学習を行った」についても9割を超え、授業以外の学習支援にも成果がみられる。また、中学校では、「すぐにヒントを与えるのではなく、子どもの思考状況を読み取ろうとした」(※)は100%であり、質的にも支援の充実が図られている。</p> <p>生徒指導面においても、小学校では「自ら適切な服装や言葉遣い、行動をすることで子どもたちの手本となるように努めた」「子どもと積極的にコミュニケーションをするように努めた」(※)という当該教員は100%、中学校では、「子どもたちの悩みや困り感に寄り添い、関係職員と連携しながら解決に努めた」(※)という当該教員は100%であり、積極的な支援が行われている。</p>					
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>全国的な少人数指導の実施に伴い、当該教員の人材確保が一層困難な状況となっている。少人数教育推進教員の人材確保に向けて、関係大学への訪問等により関係大学への協力要請を引き続き強化していきたい。(学務課)</p> <p>各学校の実情に応じて、單元ごとや学習のねらいに応じた指導形態の工夫など、効果的な指導方法についてさらに検討していく必要がある。学校訪問や各種研修会を通して、ねらいや実態に応じたより効果的な指導方法について指導・助言するとともに、当該教員の教育活動の実践力向上をさらに図っていく。(指導課)</p>					

事業番号	53	事業名	小規模学校選択制度	担当課	学務課
計画内容	<p>「自分にあった教育を受けたい」「子どもに適した教育を受けさせたい」という希望に応えるため、また、各学校がより良い教育を実践しようと工夫を凝らし、特色ある学校づくりを進めていく環境をつくるため、通学区域制度を弾力化し、保護者や子どもが入学先学校を希望できる小規模学校選択制度を導入・実施します。</p>				
	学校選択希望人数 平成20年実績	230人	平成26年目標	230人	
平成24年度 実施状況と評価	<p>平成25年度市立小学校及び中学校に入学する新1年生全員を対象とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 対象者へ学校紹介パンフレット発送（小学校 約1,800人、中学校 約1,900人） 2 学校公開日設定（10月中、約3週間） <ul style="list-style-type: none"> ※受入可能校 小学校：浦安小、富岡小、美浜南小、入船北小、明海小 中学校：見明川中、美浜中 3 平成24年度選択制度利用者 小学校 37名、中学校 197名 <p>【評価】 本事業は平成15年度より実施しており、お子さんや保護者が抱く、自分に適した教育を受けたい或いは子どもに適した教育を受けさせたいという希望を生かすため、学校選択の機会を拡大することを目的としている。その目的は周知されており、各学校や保護者の理解も得られているため、利用率は毎年安定している。今後の受け入れ学級数については学校ごとの教室数等を勘案しながら決定していく。 また、各学校がよりよい教育を実践しようと工夫を凝らし、特色ある学校づくりを推進していくというねらいも、学校紹介パンフレットの作成や学校公開の実施等を通して浸透してきている。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>同様に実施していく予定であるが、受け入れられる学校数、受け入れられる児童・生徒数が減少していることが課題である。</p>				

事業番号	54	事業名	キャリア教育の推進		担当課	指導課
計画内容	<p>キャリア教育推進委員会を設置し、児童・生徒の発達段階に応じた組織的、系統的なキャリア教育を推進します。</p>					
	開催回数	平成20年実績	2回	平成26年目標	3回	
平成24年度 実施状況と評価	<p>○市内小・中学校のキャリア教育の実態の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立小・中学校(26校)の全校でキャリア教育全体計画・年間指導計画を作成済み。また、中学校の全校、小学校の9校で職場体験学習や職場見学を実施している。 <p>○キャリア教育推進委員会を実施(年間3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい考え方に立つ、発達段階に応じたキャリア教育についての研修会を実施した。 ・各中学校区ごとに、キャリア教育についての情報交換を実施した。 <p>○各中学校校区ごとのキャリア教育年間指導計画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校のキャリア教育全体計画をもとに、小・中連携を視野に入れ、中学校区ごとにキャリア教育全体計画・年間指導計画を策定した。 <p>■平成25年3月末現在実績値 3回実施</p> <p>【評価】 市内小・中学校のキャリア教育の実態を把握するとともに、今後の市内のキャリア教育の方向性について確認することができた。 キャリア教育推進委員会を開催し、新しい考え方に基づく、発達段階に応じたキャリア教育について理解を深めることができた。また、中学校区ごとの情報交換ができた。 小・中連携を視野に入れた、各中学校区ごとの、キャリア教育全体計画と年間指導計画を作成することができた。 各中学校区のキャリア教育全体計画を、新しい観点で修正していく必要がある。</p>					
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>中学校区ごとの、新しい観点に沿ったキャリア教育全体計画を行う。 キャリア教育の授業や、具体的な指導の方法について研修を深めていく。</p>					

事業番号	55	事業名	スマートコンシューマー育成講座	担当課	消費生活センター
計画内容	暮らしにかかわるテーマを取り上げて実施し、消費生活に関するトラブルの未然防止や解決方法について、親子で話し合うきっかけづくりとなる講座を実施します。				
	参加者数	平成20年実績	86人	平成26年目標	150人
	開催回数	平成20年実績	5回	平成26年目標	6回
平成24年度 実施状況と評価	<p>※事業名変更：「スマートコンシューマー育成講座」→「消費生活講座」 ※事業統合：事業番号56「夏休み親子講座」と統合</p> <p>事業内容：親子のコミュニケーションを深めることや「千葉県の郷土料理」を楽しく作りながら、環境や食事の大切さを考える食育を目的に実施している。また、注意喚起や市民の関心が高いと思われる分野での消費者講座を実施した。</p> <p>○親子料理教室「千葉県の郷土料理 太巻き祭りずし」 実施日：平成24年8月19日（日）・実績件数：1件・参加者数：22人（親子11組） ○「コレステロールを下げるための食事」 実施日：平成24年10月14日（日）・参加者数：29人 ○「一生を左右する子供時代の食」 実施日：平成24年10月14日（日）・参加者数：5人 ○「スマートフォン入門」 実施日：平成24年11月20日（火）・参加者数：17人</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 73人全4回</p> <p>【評価】 親子料理教室は、毎年定員を超えるニーズの高い事業であり、平成25年度も引き続き継続して実施する。他の講座については、アンケート等を通じ随時内容を検討する。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	親子料理教室については、25年度に1回の講座を予定している。 本講座については、今後も市民ニーズに対応した事業運営を考えている。小中高の児童・生徒・学生を対象とした講座は、専門相談員による出前講座を中心に考えていきたい。また、子ども関連に関する講座については、消費生活センターとしては子どもに関連した製品事故や食品等での誤飲に関する情報を提供するなどの方法も検討をしていきたい。				

事業番号	56	事業名	夏休み親子講座 ※消費生活講座に名称変更・事業番号56「夏休み親子講座」と統合	担当課	消費生活センター
計画内容	小学生の親子を対象に、エコクッキングや旬を取り入れた料理教室などを夏休み期間に実施し、環境に配慮した生活や栄養・食材の知識、食事の大切さなどを親子で考えてもらう機会を充実します。				
	参加者数	平成20年実績	基本方針の策定	平成26年目標	方針の推進
	開催回数	平成20年実績	17校/8校	平成26年目標	18校/9校
平成24年度 実施状況と評価	※事業統合：事業番号55「スマートコンシューマー育成講座（事業名称変更：消費生活講座）」に統合。				
平成25年度 事業予定と 今後の課題					

事業番号	57	事業名	消費生活出前講座	担当課	消費生活センター
計画内容	<p>各中学・高校生、P T A、教師などの集まりに、直接消費生活相談員が出向き、「若者が巻き込まれやすい消費者トラブル」などのテーマで出前講座を実施することにより、様々な悪質商法やその対処法の知識を身につけてもらい、かしこい消費者を育成します。</p>				
	参加者数	平成20年実績	基本方針の策定	平成26年目標	方針の推進
	開催回数	平成20年実績	17校/8校	平成26年目標	18校/9校
平成24年度 実施状況と評価	<p>明海大学 1回実施 対象者数（新入生） 約1,250人 その他 3回実施 参加者数 125人</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 1,375人 4回</p> <p>【評価】 毎年4月に明海大学新入生オリエンテーションの中で、悪質商法についての講座を実施しており、悪質商法や消費者情報の提供、問題が生じた際は消費生活センターに相談するよう説明することで被害防止、問題解決の役割を果たしている。その他としては、学校、社会福祉協議会、自治会、老人会等に講座を実施している。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>今後においても、中・高・大学への生徒への講座を始め、教職員、P T A役員、保護者への案内を継続的に行っていききたい。また、自治会、老人会、社会福祉団体にも同様に行っていききたい。</p> <p>教育機関である中・高・大学からの講座の要請が少なくなっているため、今後の課題として対応を考えていきたい。</p>				

事業番号	58	事業名	消費生活展	担当課	消費生活センター
計画内容	<p>消費生活に関する情報を提供するとともに、身近な問題を取り上げパネルなどの展示により、消費者保護と啓発を図ります。市民まつりの中で実施し、パネル展示、啓発パンフレットの配布、手作り体験コーナーやクイズラリーによる景品の配布を行います。</p> <p>来場者の50%近くは子どもであることから、手作りコーナーやクイズラリーを実施し、友達同士や親子で楽しみながら、消費生活に対する知識を深める場として開催します。</p>				
	参加者数	平成20年実績	1,129人	平成26年目標	1,500人
平成24年度 実施状況と評価	<p>開催日時：平成24年9月23日（日）前10時～午後4時・来場者数 121人 24年度は、消費生活センターの場所の周知のため消費生活センターを会場にした。</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 121人</p> <p>【評価】 消費生活に関する情報提供をするとともに、身近な問題を取り上げパネルの展示やクイズを活用した制度周知等消費者保護と啓発を目的に実施した。24年度は、消費生活センターの場所の周知のため消費生活センターを会場にした。</p> <p>また、各公民館まつり、老人福祉センター施設、敬老会等の施設・行事を活用し、パネルやチラシ等を展示し消費生活情報の啓発に努めた。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>25年度消費生活展については市民まつり等の中で実施するか、消費生活センター単独で行うか検討。その他、消費生活情報については、公民館まつり等を活用して消費者啓発に努める。</p>				

事業番号	59	事業名	中学3年生・高校3年生等へ啓発リーフレット配布	担当課	消費生活センター
計画内容	<p>市内の中学3年生・高校3年生全生徒に、悪質商法や携帯電話トラブルの啓発リーフレットを配布します。同時に、若者の相談の現状や出前講座の案内を行い、パンフレットの配布と共に出前講座の実施を推進します。</p>				
	学校数・配付数	平成20年実績	14校 2,347枚	平成26年目標	対象:市内全校
平成24年度 実施状況と評価	<p>市内全校に配布。 中学3年生 1,686部 高校3年生1,365部の啓発リーフレットを配布した。</p> <p>【評価】 本年度も市内公立・私立の中学3年・高校3年全生徒に悪質商法や携帯電話トラブルの啓発リーフレットを配布し悪質商法等のトラブル防止に努めた。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>今後も継続的に本事業を実施していく。</p>				

(3) 地域での健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上

事業番号	60	事業名	【重点】 多世代交流事業の実施		担当課	青少年課 保育幼稚園課
計画内容	<p>(青少年課) 子どもが地域社会での様々な活動や体験を学べるよう、年齢や世代を超えた交流事業の実施・活性化の検討に取り組みます。</p>					
	<p>(保育幼稚園課) 健全な社会環境の整備に向け、子どもが地域社会での様々な活動や体験を学べるよう、年齢や世代を超えた交流事業の実施・活性化の検討に取り組みます。</p>					
	(青少年課) 実施クラブ数	平成20年実績	5クラブ	平成26年目標	6クラブ	
(保育幼稚園課) 事業受け入れ	平成20年実績	実施	平成26年目標	実施		
平成24年度 実施状況と評価	<p>【青少年課】 各地区児童育成クラブと地域の老人クラブ等との交流活動をおこなっていることから、市の事業としてではなく、クラブの行事として実施していくため、24年度から事業を廃止した。</p> <p>【保育幼稚園課】 公立保育所において、市内小中学校及び高校の社会体験活動の場として提供している。年2回程度実施している。 また公立幼稚園においても、同様に職業体験の一環として受け入れを行っている。</p> <p>【評価】 地域交流事業の一環として、中高校生等が乳幼児と触れ合い、子どもを育てることの大変さや喜び等をより理解を深めることができた。</p>					
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>平成24年度から事業を廃止したため、25年度以降も実施の予定はない。(青少年課) 健全な社会環境の整備に向け、子どもたちが地域社会でのさまざまな活動や体験を通じて、豊かな人間性を育成するために、今後も継続して実施する。(保育幼稚園課)</p>					

事業番号	61	事業名	【重点】 地域・学校保健連絡推進部会の開催	担当課	健康増進課
計画内容	<p>子どもの生きる力や情報を選び取る力、自分の意志を伝える力等を育むため、家庭・地域・学校が一体となって取り組むための方向性や内容を検討する「地域・学校保健連絡推進部会」を開催します。</p>				
	開催回数	平成20年実績	2回	平成26年目標	2回
平成24年度 実施状況と評価	会議の開催なし				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	次期健康うらやす21策定の際に、部会のあり方について再度検討していく。				

事業番号	62	事業名	教育講演会の実施	担当課	教育総務部 指導課 教育研究センター
計画内容	<p>未来を担う子どもの教育について、学校・家庭・地域・行政で共に考えるフォーラムや教育講演回を実施します。</p>				
	開催回数	平成20年実績	2回	平成26年目標	2回
平成24年度 実施状況と評価	<p>※生涯学習課にて実施</p> <p>人と人を結びつけ地域コミュニティーを作る生涯学習の在り方について、市民とともに考える生涯学習フォーラムを実施する。 ○日時：3月16日（土）14：00～16：00 ○場所：美浜公民館大集会室 ○内容：セレモニー 基調講演「絆 生涯学習による人づくり・まちづくり」 福留 強 氏 パネルディスカッション</p> <p>【評価】 平成22年度より、「学校教育にとらわれず広く教育に関する課題について市民とともに考える機会を設ける」という趣旨から指導課より生涯学習課に移管した事業で、名称も「生涯学習フォーラム」となった。震災から2年が経過する3月という時期の開催は、震災からの復興を意識した市民の「絆」の大切さと、生涯学習推進計画を策定しているなかで、生涯学習が人づくりや地域づくりのためにいかに必要とされているのかを意識した生涯フォーラムにすることができた。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>今後の生涯フォーラムについては、生涯学習推進計画を踏まえたテーマや内容の検討をはじめ、市民の参加しやすい時期の設定、学校関係者やサークル・団体の参加促進など、多くの市民に生涯学習のきっかけとして、また市民活動の支援の機会として生涯学習フォーラムを実施していく必要がある。</p>				

事業番号	63	事業名	ブックスタート事業の実施	担当課	中央図書館 (健康増進課 市民課)
計画内容	<p>出生届けの際に記念品として絵本を配布し、生後4か月以降にブックスタート絵本講座を実施します。絵本を介して、親と子が心とことばを通わせ、親子の絆を深めるとともに、乳幼児に読書の基礎となる絵本の大切さ、楽しさを伝えることを支援します。</p>				
	延べ参加者数	平成20年実績	879人	平成26年目標	900人
平成24年度 実施状況と評価	<p>市民課で出生届の際に記念品として絵本を配布した。その後、健康増進課から各家庭への通知の際に事業の案内をあわせて行い、生後4ヶ月以降の親子を対象に中央図書館でブックスタート絵本講座を実施した。講座では、絵本の与え方楽しみ方を伝えるとともに簡単なわらべうた遊びも紹介した。</p> <p>ブックスタート絵本講座実施状況 実施回数 48回（毎月第2金曜午後 地域ごとにグループに分け4回実施） 参加人数 659人</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 659人</p> <p>【評価】 昨年度より参加人数が増加したが、出生数の減少もあり、目標値には届いていない。だが、今年度は、講座の前後に図書館の利用券を作成する体制を整え、ほとんどの参加者に利用券を作っ てもらっている。これにより、親子での図書館利用が促進された。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>継続する。案内文書の改訂などで、参加を促す広報を工夫していく。</p>				

事業番号	64	事業名	児童集会事業の実施	担当課	中央図書館																								
計画内容	<p>児童を対象に、「おはなし会」「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」「お楽しみ会」などを実施します。また、子どもに関わる大人（保護者、教師、保育者など）を対象に、「絵本のよみきかせ講座」「親子で楽しむ絵本講座」「子どもの本の講座」などの講座、講演会を実施します。</p>																												
	延参加者数	平成20年実績	7,730人	平成26年目標	8,000人																								
平成24年度 実施状況と評価	<p>子どもを対象に、「おはなし会」「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」「としょかんの冬のお楽しみ会」などを実施した。また、子どもに関わる大人（保護者、教師、保育者など）を対象に、「子どもの本の講座」「絵本のよみきかせ講座」「親子で楽しむ絵本講座」などを実施した。</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>児童集会事業実施状況</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おはなし会</td> <td>22回</td> <td>123人</td> </tr> <tr> <td>えほんのじかん</td> <td>652回</td> <td>6,149人</td> </tr> <tr> <td>科学で遊ぼう</td> <td>2回</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>赤ちゃんと楽しむわらべうたの会</td> <td>23回</td> <td>432人</td> </tr> <tr> <td>絵本のよみきかせ講座</td> <td>2回</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>親子で楽しむ絵本講座</td> <td>6回</td> <td>169人</td> </tr> <tr> <td>としょかんの冬のおたのしみ会</td> <td>2回</td> <td>158人</td> </tr> </tbody> </table> <p>等</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 7,798人</p> <p>【評価】 昨年度、震災による事業の見直しで中止した「科学で遊ぼう」「子どもの本の講座」を再開した。特に「子どもの本の講座」は、定員を越えて抽選になり、再開が待たれていたようすが伺われた。「としょかんの冬のおたのしみ会」の参加年齢の見直しや、中学生も参加できる行事「図書館クラブ」の拡充、教育委員会全体で取り組んだ県民の日行事などの成果で、参加者も増加している。</p>					児童集会事業実施状況	実施回数	参加人数	おはなし会	22回	123人	えほんのじかん	652回	6,149人	科学で遊ぼう	2回	52人	赤ちゃんと楽しむわらべうたの会	23回	432人	絵本のよみきかせ講座	2回	54人	親子で楽しむ絵本講座	6回	169人	としょかんの冬のおたのしみ会	2回	158人
児童集会事業実施状況	実施回数	参加人数																											
おはなし会	22回	123人																											
えほんのじかん	652回	6,149人																											
科学で遊ぼう	2回	52人																											
赤ちゃんと楽しむわらべうたの会	23回	432人																											
絵本のよみきかせ講座	2回	54人																											
親子で楽しむ絵本講座	6回	169人																											
としょかんの冬のおたのしみ会	2回	158人																											
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>今年度同様の行事を継続する。平成25年度は開館30周年にあたり、全体で、30周年を記念した行事としての取り組みを進める。</p>																												

事業番号	65	事業名	図書館における児童サービス事業の実施	担当課	中央図書館
計画内容	<p>子どもと本を結びつけること、子どもに関わる大人（保護者、教師、保育者など）に子どもにとっての読書の大切さを伝えることを目的に、図書資料の選定、貸出し、紹介や読書相談を行います。また、ホームページを活用して、推薦図書の紹介等を行います。学校等の類縁機関とも連携を図り、団体貸出や、それぞれの施設に出向いて、絵本のよみきかせ、ストーリーテリング（おはなし）、ブックトーク（本の紹介）などを実施するとともに、職業体験等の受入れを行い図書館への理解を促します。子どもと読書に関する講師派遣も行います。</p>				
	児童書貸出冊数 平成20年実績	499, 333冊	平成26年目標	500, 000冊	
平成24年度 実施状況と評価	<p>子どもと本を結びつけ、子どもに関わる大人（保護者、教師、保育者など）に読書の大切さを伝えることを目的に、図書資料の選定、貸出、紹介や読書相談を行っている。 学校等の類縁機関とも連携を図り、団体貸出や各施設に職員を派遣して、よみきかせ、ストーリーテリング（おはなし）、ブックトーク（本の紹介）などを実施している。PTA等へのよみきかせの講座なども行っている。</p> <p>平成24年度 児童書貸出冊数 494, 228冊 平成24年度類縁機関サービス実施状況 実施975回 参加者数24, 425名</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 494, 228冊</p> <p>【評価】 平成22年度末で518, 428冊を達成したが、東日本大震災以降、震災に伴う休館もあり貸出が一時低下した。現在は回復傾向にあるが、まだ震災前の水準には戻っていない。平成24年度は震災で休止していた行事を復活し、参加者に、新規登録の推進や、図書の紹介などを従来以上に進めるなど工夫を行った。図書館からの派遣とともに、保育園・幼稚園の園児の来館利用を促すなど、類縁機関との連携の強化にも努めている。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>貸出は基本的な業務であり、類縁機関との連携についても継続していく。平成25年度については、市内の私立中学にも推薦図書リスト配布を広げるなど、今までのサービスを強化するとともに、さらにきめ細かい働きかけを、子どもと保護者に対して行っていきたい。</p>				

事業番号	66	事業名	郷土博物館における幼児・児童、生徒対象事業の充実		担当課	郷土博物館
計画内容	<p>幼児、児童、生徒対象事業を企画・実施し、子どもが体験を通じ向学心を育むための各種事業の充実を図ります。</p>					
	延参加者数	平成20年実績	16,341人	平成26年目標	20,000人	
平成24年度 実施状況と評価	<p>○団体利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園：博物館展示の見学・昔遊びや、べか舟乗船体験などを通して、博物館に興味を持ち、浦安の文化に親しむ。 ・小学校：昔遊び・昔の生活体験、海苔すき体験、海苔簀織りなど。 ・中学生：職場体験への協力など。 <p>○一般利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔遊びと生活体験：ベーゴマ、こま、竹馬、お手玉、わらべうた ・体験教室：勾玉づくり、竹細工教室、貝殻細工教室、お手玉・ねつけづくり教室、郷土料理教室、ぼったら体験、境川乗船体験 など ・季節の行事体験：七夕飾り、お月見、大掃除、餅つき、正月遊び、豆まき、オオカンケ <p>■平成25年3月末現在実績値 延べ参加人数 18,170人</p> <p>【評価】 保育園・幼稚園・小中学校の団体利用については、昨年までと同じく、事前の打ち合わせなどによって活用に対する希望を最大限度生かせるように努力している。 一般利用については、引き続き予算との兼ね合いはあったものの、来館者数等に関しては徐々に震災以前の状況に戻る動きが見えた。 しかし、主催事業への参加者数は減少傾向にある。</p>					
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>主催事業への参加者数が減少傾向にあるため、早急に事業毎の見直しと、併せて新規事業の模索が必要である。</p>					

事業番号	67	事業名	土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施	担当課	各公民館
計画内容	各公民館において、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業を企画・実施し、子どもの「生きる力」を育むための各種教室や交流事業を実施します				
	事業数	平成20年実績	66事業	平成26年目標	70事業
平成24年度 実施状況と評価	①学校完全週5日制に対応した事業の実施(平成25年3月末現在実績値)				
	<p>*中央公民館 実績件数：17事業 述べ191回</p> <p>自己表現力アップセミナー(5回)・2歳児親子遊び教室(1回)・1歳児親子遊び教室(1回)・科学捜査最前線(1回)・はまぐりでお雛様をつくろう(1回)</p> <p>*堀江公民館 実績件数：7事業 10回</p> <p>自然観察(2回実施：計2回)、「芸術の秋」気分はすっかり芸術家(2回)、簡単！カルトナーージュ(1回)手作り飾りでお祝いしよう！～X'mas&お正月(1回)、子ども習字教室(3回)、冬のいたずら者“パチパチ！ビリビリ！静電気(1回)</p> <p>*富岡公民館 実績件数：8事業 69回</p> <p>とみおかジュニア囲碁ひろば(年47回毎週土曜日)・クリスマスリース作り(1回)・お正月料理を作って食べよう(1回)・子ども七宝焼き講座(1回)・お父さんと作ろう！母の日のごちそう(1回)・羊毛フェルトで作るかわいいお雛さま(1回)・お父さんの贈るバレンタインチョコレートケーキ(1回)・美走塾(16回)</p> <p>*当代島公民館 実績件数：6事業 18回</p> <p>当代島軽スポーツくらぶ(12回)、星空の宅配便in当代島公民館(1回)、世代間交流！パンづくりを楽しもう(1回)、消しゴムではんこを作ろう(1回)、プライダルをコーディネート！～ケーキづくりから演出まで～(1回)、中学生・高校生集まれ！バスケットボールを楽しんじゃおう(2回)</p> <p>*美浜公民館 実績件数：2事業 5回</p> <p>親子手話教室(4回)・手作りお菓子でバレンタイン(1回)</p> <p>*日の出公民館 実績件数：10事業13回</p> <p>お父さん出番ですよ！～わらべ歌とおはなしをたのしむ会(1回)・お父さん出番ですよ！～体を動かして遊ぼう(3回)・ひなまつりスペシャルおはなし会(1回)・こどもパン作り教室(1回)・親子で日曜大工！(1回)・クリスマススペシャルおはなし会(1回)・インドアプレーン工作教室Ⅱ(2回)・お父さん出番ですよ！～わらべ歌とおはなしをたのしむ会(1回)・パパと一緒にクリスマスデザートを作りましょう(1回)・パパと一緒に休日ごはんを作りましょう！(1回)</p> <p>*高洲公民館 実施件数：18事業202回</p> <p>おはなしのへや まめっちょ(22回)・おはなしの森(19回)・小学生ライミング体験会(22回)・クライミングウォール小学生講習会(6回)・高洲ベゴマひろば(48回)・高洲ベゴマ大会(4回)・おはなしのへや ピッピー(11回)・運動室の一般開放(32回)・エスレ★キッズシアター(1回)・うんどう室で思いっきり遊ぼう！！(1回)・さがしちゃおう！みつけちゃおう！エスレ高洲DOKIDOKIアドベンチャー(2回)・クライミングウォールの一般開放(7回)・クライミングウォールに挑戦！！(2回)・クライミングウォール初心者講習会(18回)・クライミングウォール利用者説明会(3回)・クリスマスキャンドルをつくろう(1回)・子ども人形劇(2回)・コーディネーショントレーニング(1回)</p>				
	②長期休み期間等に対応した事業の実施(平成25年3月末現在実績値)				
	<p>*中央公民館 実績件数：20事業 31回</p> <p>エコ講座①②(2回)・中央公民館お泊り会in summer(1回)・JAXAの人から学ぼう(3回)・サマースクールin中央①(1回)・サマースクールin中央②(1回)・車両基地を見学に行こう(2回)・体育館夏休み子ども開放(3回)・こどもルーム(6件)・海の安全を守る仕事(1回)・わくわく体験エコ講座(1回)・しめ飾り教室(1回)・漫画家のお仕事(1回)・春休み子ども映画会(1回)・平和映画会(1回)・春休み科学遊び①(1回)・春休み科学遊び②(1回)・春休み科学遊び③(1回)・地域ふれあい劇場(1回)・県民の日イベント(1回)・いじめをつくらないコミュニケーション(1回)</p> <p>*堀江公民館 実績件数：10事業10回</p> <p>誰でも作れる紙芝居(1回)、子ども陶芸教室A・B(各1回)、科学実験「光の学習」～きらきら☆ワンダーランド(1回)、ナメクジに感性はあるの？(1回)、楽しもうDIY(1回)、願いを込めて・・・ミサンガ作り(1回)、ペットボトルでかざぐるま(1回)、平和映画会(1回)、冬休み野鳥観察(1回)</p>				

<p>平成24年度 実施状況と評価</p>	<p>*富岡公民館 実績件数：9事業 13回 子ども料理教室(2回)・子ども茶道体験(2回)・親子木工教室(1回)・子ども環境講座(1回)・夏休み子ども映画会(1回)・初めての絵手紙(1回)・冬休み子ども映画会(1回)・冬の星空教室(3回)・うらやす子ども俳句大会(1回)</p> <p>*当代島公民館 実績件数：18事業 27回 千葉県民の日！当代島公民館で遊んじゃおう(1回)、夏休み平和映画会(1回)、スライドトーク「ちひろ・平和への願い」(1回)、色ねんどを混ぜて「いろ」で遊んじゃおう(1回)、まちあるき探検をしてみよう(1回)、当代島で「お金」について学んでみよう～おこづかいゲーム～(1回)、親子で絵手紙を描いてみよう(1回)、夏休み子ども工作教室「貯金箱をつくろう」(1回)、夏休み子ども環境講座(2回)、夏休み子ども草木染体験(1回)、夏休み子ども陶芸教室(4回)、子ども科学あそび1(1回)、子ども科学あそび2(1回)、夏休み子ども囲碁入門講座(4回)、夏休み子ども人形劇「さんまいのおふだ」(1回)、夏休み子ども向け体育館開放(3回)、サバイバル生活を体験してみよう(1回)、冬休みこども人形劇「かさじぞう」(1回)</p> <p>*美浜公民館 実績件数：14事業16回 子ども折紙教室(1回)・子ども夏まつり(1回)・平和映画会(1回)・虫よけスプレーを作ろう！(1回)・ビー玉迷路作り(1回)・星空の宅配便(1回)・子ども絵手紙教室(1回)・子どもエコ講座(1回)・かがくの不思議講座(1回)・夏休み子ども紙粘土工作教室～かわいい小物を作ろう～(2回)・こども茶道教室(2回)・影絵劇場(1回)・親子で缶嚮制作(1回)・羊毛でボンボンマスコットを作ろう(1回)</p> <p>*日の出公民館 実績件数：10事業16回 夏のおいしいおはなし会(1回)・夏休み子ども陶芸教室(3回)・夏休み子ども工作教室(1回)・夏休み子ども将棋教室(3回)・平和紙芝居上演会(1回)・<ほん>たんけんクラブ公開講座(1回)・夏休み子ども絵画教室(3回)・夏休み親子事業(1回)・アジアンおやつ探検！(1回)・スペシャル夏のおはなし会&ディナー(1回)</p> <p>*高洲公民館 実績件数：22事業 40回 おはなのへや まめっちよ夏休みスペシャル！(1回)・おはしの森スペシャルパート2(1回)・夏の子どもの環境講座1(1回)・夏の子どもの環境講座2(1回)・夏の子どもの科学講座1(1回)・夏の子どもの科学講座2(1回)・小学生クライミング体験会(6回)・クライミングウォール小学生講習会(3回)・学ぼう！パークゴルフ(1回)・中高生のヒップホップ(3回)・絵手紙教室～うちわに絵手紙を描こう！～(1回)・こども手芸教室(1回)・羊毛ノードフェルト講座(1回)・高洲ペーゴマひろば大会(4回)・夏休み！おはなしのへやビブピスペシャル(1回)・エスレ高洲の夏のお話コワ～イお話もあるよ(1回)・エスレにプラネタリウムがやってくる！！(3回)・夏休みクライミングウォールに挑戦！！(4回)・クライミングウォール初心者講習会(1回)・クライミングウォール利用者説明会(1回)・親子でワンコイン料理教室(1回)・エスレ★キッズシアター(2回)</p>
	<p>【評価】</p> <p>中央公民館：夏休み期間に対応した事業では、子どもの創造力を養い、達成感を味わうことを目的としたものづくりの事業を行った。工作・絵手紙など宿題になるものも行った。また、今年度は「お仕事シリーズ」など子どもが社会性を身につけられるような講座や体験できるような講座に力を入れて行った。</p> <p>堀江公民館：学校完全週5日制に対応した事業として、親子でコミュニケーションをとりながら学習する機会、また、仲間や指導にあたる大人との関わりの中で社会性を身につけることを主な目的として展開し実施した。夏休み期間に対応した事業では、子どもの創造力を養い、達成感を味わうことを目的としたものづくりの事業、また親子で参加できる内容も実施した。また、夏休みの宿題にもつながるもの(環境アトリエ教室、陶芸講座)も行なった。さらに、堀江中学校科学部の生徒が講師になり、光の学習を行った。</p> <p>富岡公民館：完全週5日制に対応した事業として、いずれも子どもの居場所づくり、又、仲間や指導にあたる大人との関わりの中で社会性・協調性を身につける事を主な目的として展開し実施した。夏休み期間に対応した事業では子どもの創造力を養い、達成感を味わう事を目的とした物づくりなどの事業を行った。</p> <p>当代島公民館：学校完全週5日制に対応した事業として、いずれも子どもの居場所づくり、また、仲間や指導にあたる大人との関わりの中で社会性を身につけることを主な目的として展開している。当代島軽スポーツくらぶは9年目となり定着している。プライダルをコーディネート！～ケーキづくりから演出まで～は、節目を迎えるご夫婦2組を、デコレーションケーキ作りや結婚式の司会や牧師など演出することにも携わり、地域交流の一環にもなった。</p> <p>夏休み期間等に対応した事業では、まちあるき探検をしてみよう、サバイバル生活を体験してみようでは、防災を視点にマップ作りをしたり、宿泊訓練をしたりした。</p> <p>美浜公民館：夏休み・冬休み期間に対応した事業では、子どもの創造力を養い、達成感を味わうことを目的としたものづくりの事業を行った。工作など宿題になるものも行った。</p> <p>日の出公民館：長期休み期間等に対応した事業としては、子どもが自ら考え、自らの手を使い何かを作り上げる過程で成功や失敗を始め様々な経験をすることができる体験学習を数多く行った。</p> <p>高洲公民館：夏休み期間に対応した事業では、子どもの創造力を養い、達成感を味わうことを目的としたものづくりの事業を行った。工作など宿題になるものも行った。</p>
<p>平成25年度 事業予定と 今後の課題</p>	<p>子どもの居場所づくりのため、また、様々な体験を通じて社会性を身につける機会とするため、24年度以降はより目標値に近づけるように事業を計画していきたい。</p>

事業番号	68	事業名	健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業の実施	担当課	各公民館
計画内容	地域での健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上に向けた役割を持つ施設として、各公民館において健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上につながる事業を展開します。				
	事業数	平成20年実績	58事業	平成26年目標	60事業
平成24年度 実施状況と評価	<p>■平成25年3月末現在実績値</p> <p>*中央公民館 実績件数：17事業 述べ191回 実施内容：1歳児親子遊び教室（8回）・2歳児親子遊び教室（5回）・日本語教室初級・中級（38回）・若草幼稚園子育てミーティング（9回）・神明幼稚園子育てミーティング（12回）・浦安小学校子育てミーティング（8回）・東小学校子育てミーティング（9回）・土曜日子育てミーティング（10回）・いじめをつくらないコミュニケーション（1回）・魅力的な親になろう2（3回）・パパの子そだて・ママの子育て親そだち講座（6回）・ファシリテーター養成講座（5回）・公民館文化祭（年1回）、県民の日イベント（1回）・こどもルーム（47回）・わくわく体験教室（28回）</p> <p>*堀江公民館 実績件数：18事業 述べ116回 実施内容：公民館文化祭（年1回）、子育て支援講座（3回）、子育てミーティング（幼稚園：10回・小学校：14回）、おひさまクラブⅠ（19回）・Ⅱ（17回）、親と子のずくぼんじょ（11回）、おはなしのへやたけんこ（11回）、わくわくキッズ道場（17回）、放課後わくわく広場（6回）、パパと子クラブ（3回）、クリスマス会Ⅰ・Ⅱ（各1回）、お菓子のクリスマスプレゼント（1回）、工作パラダイス（1回）、ダンス・ダンス・フォークダンス（1回）、こどものための「春のつどい」（1回）、新春豆まき&お茶会（1回）</p> <p>*富岡公民館 実績件数：8事業 述べ386回 実施内容：公民館文化祭（年1回）・親子で遊ぼう富岡ひろば夏休みスペシャル（1回）・親子で楽しむわらべうたとえほんの会（年22回）・富岡・東野小学校家庭教育学級（5回）・見明川小学校家庭教育学級（13回）・富岡・見明川・浦安幼稚園合同家庭教育学級（10回）・県民の日記念イベント（1回）・なかよしコーナー・学習コーナー（333回）</p> <p>*当代島公民館 実績件数：23事業 412回 実施内容：青葉幼稚園子育てミーティング（10回）、北部幼稚園子育てミーティング（11回）、北部小学校子育てミーティング（10回）、女の子のからだの変化と下着の選び方（1回）、子どもの心を守り心を育てよう～いじめと人権～（2回）、ネット社会にひそむ罠（2回）、こどものココロが見える魔法のコトバ（1回）、公民館文化祭（年1回）、体育館一般開放（毎月2回・23回）夏休み子ども向け体育館開放（3回）、つゆどき親子向け体育館開放（年4回）、芝生広場の開放（通年・331回）、千葉県民の日！当代島公民館で遊んじゃおう（1回）、サバイバル生活を体験してみよう（1回）、昔なつかしい飴細工を楽しもう（1回）、世代間交流！パンづくりを楽しもう（1回）、プライダルをコーディネート！～ケーキづくりから演出まで～（1回）、中学生・高校生集まれ！バスケットボールを楽しんじゃおう（2回）、親子フットサル体験教室（1回）、新春！真冬の祭典（1回）、音楽を楽しもう！北部小学校吹奏楽コンサート（1回）、チチンパイ！おおきくな～れ（1回）、浦安の歴史を語り合おう（2回）</p> <p>*美浜公民館 実績事業数：5事業 32回 実施内容：公民館文化祭（年1回）、入船南・美浜北・美浜南幼稚園家庭教育学級（14回）、美浜南・入船南・入船北・美浜北小学校家庭教育学級（12回）、親子手話教室（全4回）、子ども夏まつり（1回）</p> <p>*日の出公民館 実績事業数：10事業64回 実施内容：家庭教育学級（小学校8回・中学校18回）、幼稚園家庭教育講座（3回）・お父さん出番ですよ！～わらべ歌とおはなしを楽しむ会～（2事業、2回）・乳幼児家庭教育講座～ゆったり子育てのツボ～（2事業、10回）・お父さん出番ですよ！～体を動かして、遊ぼう（3回）・すくすくクラブ（大きい子組、小さい子組）（2事業、20回）</p> <p>*高洲公民館 実績：4事業27回 実施：文化祭（年1回）、家庭教育講演会（1回）、高洲・明海・日の出地区合同幼稚園家庭教育学級（12回）、高洲・明海・日の出地区合同小学校家庭教育学級（13回）</p>				

<p>平成24年度 実施状況と評価</p>	<p>【評価】 中央公民館： 家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開した。また、働く保護者でも講座に参加できるように土曜日版家庭教育学級も開催し、来年度に向けて地域ママと公民館協働による運営も定着してきた。さらに、放課後居場所づくり教室も行い地域ボランティアによる見守り運営を行って、子どもたちにも地域の方とのふれあいの場を提供した。</p> <p>堀江公民館：特に通年で開催されているものは、親子同士の仲間作りが図られ、受身にならず積極的に参加している姿勢が見られる。また毎月1回のおはなし会（ずくぼんじょ・たけんこ）は、地域の方・子ども達が気軽に参加できる交流の場になっている。今年度の家庭教育学級も、学習方法を企画運営方式にし、意欲的に取り組んでいる。また、21年度から実施している「放課後わくわく広場」も子どもたちに定着してきた。</p> <p>富岡公民館：家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開し有意義であった。また、通年を通した事業では親同士の情報交換・子ども同士の学習や交流の場となっている。</p> <p>当代島公民館：体育館一般開放は、自由に体を動かす機会とすると同時に、安全管理者を配置することにより、遊びながらルールを身につけることを学ぶことができる。平成22年度からは、スポーツインストラクターに来ていただき、道具の扱い方や指導もしていただいている。24年度からは、夏休み期間にも体育館開放日を設けた。夏休みの居場所作りにもなった。平成17年度からは、梅雨の時期に乳幼児と保護者を対象に体育館を開放している。</p> <p>家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開している。</p> <p>中学生・高校生を対象に、千葉ジェッツの選手たちを講師に招き、バスケットボールの体験をした。</p> <p>美浜公民館：家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開した。</p> <p>日の出公民館：平成24年度は、乳幼児を持つ親の学習機会と父親の学習交流参加の機会の充実を目指した。核家族で、子育てを身近に支える人がいない若い親達が多く応募し、熱心な学習活動を展開することができた。</p> <p>高洲公民館：家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開した。今後も家庭教育を支援する事業を展開していくと同時に地域の方々との連携も行いたい。</p>
<p>平成25年度 事業予定と 今後の課題</p>	<p>【中央公民館】 今後も、家庭教育を支援する事業を展開していくと同時に地域の方々との連携も行いたい。また、25年度には地域の方が企画運営する講座をさらに増やしていき、地域の方とともに、さらなる地域目線の事業展開をしたい。</p> <p>【堀江公民館】 これまでの主催事業に加え、地域団体など指導や協力を依頼するなど、地域の方々子どもたちの顔の見える関係作りができる事業を計画していきたい。</p> <p>【富岡公民館】 次年度以降も、家庭教育の充実を目的とした支援を図っていくための事業を実施していきたい。また、家庭・地域教育力の向上を図るためにも、今後、参加者が受講しやすい開催日時などを考慮しながら実施していきたい。</p> <p>【当代島公民館】 これまでの主催事業に加え、地域団体など指導や協力を依頼するなど、地域と子どもたちを結びつける事業を計画していきたい。</p> <p>【美浜公民館】 今後も、家庭教育を支援する事業を展開していくと同時に地域の方々との連携も行いたい。</p> <p>【日の出公民館】 平成24年度に引き続き、機会と内容の充実を図っていく。</p> <p>【高洲公民館】 今後も、家庭教育を支援する事業を展開していくと同時に地域の方々との連携も行いたい。</p>

事業番号	69	事業名	子ども映画会開催事業	担当課	視聴覚ライブラリー
計画内容	<p>子どもに質の良い映画を観る機会を増やすために、月2回（定員100人、年24回）、子ども映画会を実施しています。引き続き、ポスターやチラシなどを作成し教育機関などに周知を行い、来場者の増加を目指します。</p>				
	延参加者数	平成20年実績	1, 879人	平成26年目標	2, 000人
平成24年度 実施状況と評価	<p>開催内容：子ども映画会 毎月第2・4土曜日（年24回） 参加対象：小学生以下の子ども及びその保護者 参加者実績： 1,557人（月2回）</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 1,557人</p> <p>【評価】 視聴覚教材に親しみを持ってもらえるように、親子で作品を鑑賞することでコミュニケーションが図れ、「心の教育の充実」や「豊かな心を育む」ことができる。24年度は、市の復興行事や悪天候等により、参加者が減少している。今後も広報・ホームページへの掲載及びポスターやチラシ等を作成し、教育機関等に周知し参加者の増加に努めたい。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>視聴覚教材に親しみを持ってもらえるように、映像を通して「心の教育の充実」や「豊かな心を育む」ことを図りながら、親子のコミュニケーションにも繋がることから継続して実施していきたい事業である。引き続き手作りポスターやチラシ等を作成し、参加者の増加に努めたい。</p>				

事業番号	70	事業名	青少年相談員による健全育成活動	担当課	青少年課
計画内容	<p>青少年相談員の活動を通じて、自主事業だけに留まらず、市における青少年健全育成活動における地域の担い手として活躍の場を広げていきます。</p>				
	延参加者数	平成20年実績	1, 859人	平成26年目標	1, 900人
平成24年度 実施状況と評価	<p>地域で子どもを育成するという青少年相談員の任務に基づき、キャンプなどの宿泊事業の他、ドッジボール大会やブラックシアター発表会等の体育・文化事業等を行いながら、青少年の健全育成活動を実施している。</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 937人</p> <p>【評価】 参加者の募集方法や事業運営に関して、事業のフィードバックを行い、参加者のニーズを把握しながら事業の改善を図っている。 また、参加者にもリピーターが多くなってきており、相談員の活動の定着化が図れてきている。今後は、中学生を対象とした活動を進めていきたい。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>18期青少年相談員に任期替えとなることから、半数以上が新規の相談員となるため、効果的な研修事業の実施が必要となっている。 事業については、24年度と概ね同様の事業を実施予定。</p>				

事業番号	71	事業名	青少年問題協議会の設置・開催	担当課	青少年課
計画内容	青少年の健全育成を図るための協議会について、新たな委員の補充を行い、市の青少年施策を効果的に実行できるような体制づくりを行います。				
	開催回数	平成20年実績	1回	平成26年目標	1回
平成24年度 実施状況と評価	平成25年1月28日 実施 議題 ①青少年センターの補導・相談状況 ②青少年の犯罪状況 ③「浦安市の子どもをみんなで守る条例」について ④その他 以上の内容で協議会を開催、関係団体等より意見聴取を行っている。				
	■平成25年3月末現在実績値 1回				
	【評価】 青少年関係団体の代表と行政機関が集まる会議であり、情報交換等を通じて、青少年問題への取り組みについて共通理解を図る場となっている。 審議事項はなかったが、各種報告事項を通じて、子どもを取り巻く問題について、共通理解を図ることができた。				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	平成25年度 開催1回の予定。				

事業番号	72	事業名	少年の広場の充実	担当課	青少年課
計画内容	市内において野外体験活動が行える唯一の場所である少年の広場について、今後も利用しやすい環境を整備・改善しながら、青少年の健全育成活動を促進していきます。				
	延利用者数	平成20年実績	4,064人	平成26年目標	4,300人
平成24年度 実施状況と評価	青少年団体等の野外体験活動の場として、キャンプ場を整備し、集団生活や集団での活動を通じて青少年の健全育成を図っている。 また、青少年団体と連携しながら、体験教室を実施している。				
	■平成25年3月末現在実績値 2,876人				
	【評価】 利用者の声を反映しながら、施設の改善を行うとともに、定期利用団体と連携を図りながら年2回、体験事業を実施している。少しずつではあるが、募集定員を超えるなど、事業の定着化が図れてきている。				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	平成24年度と同様に実施予定。 利用人数を確保するとともに、定期利用団体と連携しながら主催事業の充実を図っていく。				

事業番号	73	事業名	【実施】 放課後異年齢児交流促進事業		担当課	青少年課
計画内容	<p>小学校における余裕教室等において実施する放課後異年齢児交流促進事業について、現状を継続しながら内容に工夫を凝らし、子どもにとって安心で安全な遊び場としての機能の向上を図っていきます。</p>					
	実施校数	平成20年実績	5校	平成26年目標	拡大	
	利用者数	平成20年実績	49,988人	平成26年目標	55,000人	
平成24年度 実施状況と評価	<p>学校施設等を利用して「遊び場」を確保し、遊びを通じた異年齢児間の交流の促進することにより児童の自主性・社会性を養い、児童の健全な育成を図っている。 市内5小学校にて実施（入船北、日の出、南、東、明海）</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 34,997人</p> <p>【評価】 各学校において、子ども達の状況にあわせて、各種の行事や教室活動を実施している。また、公民館と連携した事業も実施するとともに、地域との関わりの中で活動の範囲を広げている。 指導員についても、資質の向上のための研修会や学校間での情報共有を図るため、定期的な研修会等を実施している。</p>					
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>各学校の事業計画により事業実施。 学校・教育委員会との協議をしながら、他校での実施を進めていく。</p>					

(4) 地域で子どもが健全に育つ環境対策の推進

事業番号	74	事業名	薬物乱用防止等対策の推進		担当課	保健体育安全課
計画内容	<p>薬物使用及び喫煙の健康に及ぼす影響についての知識を学ぶ機会を設けます。</p>					
	防止教室	平成20年実績	小学校 8校 中学校 2校	平成26年目標	小学校 18校 中学校 8校	
平成24年度 実施状況と評価	<p>学校保健委員会等において、児童生徒の保健学習の一環として薬物乱用防止教室を実施している。 学校薬剤師、浦安警察、浦安ライオンズクラブが主な講師である。</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 薬物乱用防止教室等実施校 小学校 13校 中学校 4校</p> <p>【評価】 中学校での薬物乱用防止教室の実施が減っていることから、今後も各学校の学校保健全体計画に位置づけを行うよう指導していくことが必要である。 各学校における、保健体育・体育科での保健教育が、年間計画に基づき計画的に実施されるよう、今後とも啓発を行っていく。</p>					
平成25年度 事業予定と 今後の課題	<p>保健学習の充実を図るとともに、学校保健委員会の開催等で「薬物乱用防止教室」を実施していく。 平成24年度より「医薬品の取り扱い」教育が導入されている。薬物乱用防止教育への発展も期待できる内容のため、学校薬剤師会会長を講師として招き、養護教諭及び保健体育科教諭に対して研修会を行った。今後とも専門家と連携をとり、薬物に関する児童・生徒の正しい理解を図るとともに、保護者への情報提供および啓発に努めたい。</p>					

事業番号	75	事業名	販売業者に対する対面販売の呼びかけ実施	担当課	青少年センター
計画内容	未成年者にタバコやお酒を売らないよう、販売業者に対する対面販売の呼びかけを実施します。				
	啓発	平成20年実績	実施	平成26年目標	継続
平成24年度 実施状況と評価	<p>コンビニエンスストア等の販売業者を青少年補導員が訪問し、未成年に対してお酒、タバコ、有害図書等を販売しないよう、年齢確認の徹底や有害図書等の適正陳列をお願いしている。</p> <p>【評価】 青少年補導員は、中学校区（全8ブロック）ごとに月2回程度実施する地区パトロールにおいて、定期的に販売業者を訪れ情報交換に努め、協力関係を構築している。こうした活動により、販売業者には年齢確認の徹底や有害図書等の適正陳列について対応していただいている。</p>				
平成25年度 事業予定と 今後の課題	販売業者の行う年齢確認等の取り組みは以前と比較して浸透してきているものの、店舗によって取り組み具合に温度差があるため、引き続き協力を求めていく。				

事業番号	76	事業名	青少年補導員による地域パトロールの実施	担当課	青少年センター																		
計画内容	教育委員会が委嘱した青少年補導員と青少年センターが協働して地域パトロールを実施し、青少年に声をかけ、非行防止を図ります。																						
	実施回数	平成20年実績	431回	平成26年目標	450回																		
平成24年度 実施状況と評価	<p>教育委員会が委嘱した青少年補導員と青少年センター職員が協働して街頭補導を実施し、青少年に「愛のひと声」をかけ、非行防止及び健全育成に努めている。</p> <p>■平成25年3月末現在実績値</p> <table border="0"> <tr> <td>◎街頭補導実施回数：495回</td> <td>◎従事者延べ人数：2,561人</td> <td>◎補導延べ人数：887人</td> </tr> <tr> <td>・中央パトロール：70回</td> <td>・青少年補導員：1,901人</td> <td>・小学生：33人</td> </tr> <tr> <td>・地区パトロール：168回</td> <td>・警察：17人</td> <td>・中学生：127人</td> </tr> <tr> <td>・特別パトロール：14回</td> <td>・職員：549人</td> <td>・高校生：654人</td> </tr> <tr> <td>・臨時パトロール：6回</td> <td>・その他：94人</td> <td>・大学生等：62人</td> </tr> <tr> <td>・職員パトロール：237回</td> <td></td> <td>・その他：11人</td> </tr> </table> <p>【評価】 雨天による中止を除き、予定している街頭補導は定期的実施している。</p>					◎街頭補導実施回数：495回	◎従事者延べ人数：2,561人	◎補導延べ人数：887人	・中央パトロール：70回	・青少年補導員：1,901人	・小学生：33人	・地区パトロール：168回	・警察：17人	・中学生：127人	・特別パトロール：14回	・職員：549人	・高校生：654人	・臨時パトロール：6回	・その他：94人	・大学生等：62人	・職員パトロール：237回		・その他：11人
◎街頭補導実施回数：495回	◎従事者延べ人数：2,561人	◎補導延べ人数：887人																					
・中央パトロール：70回	・青少年補導員：1,901人	・小学生：33人																					
・地区パトロール：168回	・警察：17人	・中学生：127人																					
・特別パトロール：14回	・職員：549人	・高校生：654人																					
・臨時パトロール：6回	・その他：94人	・大学生等：62人																					
・職員パトロール：237回		・その他：11人																					
平成25年度 事業予定と 今後の課題	引き続き街頭補導を計画的に実施していく予定であるが、青少年補導員（特に教員の立場で委嘱されている青少年補導員）の参加率を向上させることが課題となっている。																						

事業番号	77	事業名	地域パトロールでの注意喚起、啓発活動の充実		担当課	防犯課
計画内容	教育委員会が委嘱した青少年補導員と青少年センターが協働して地域パトロールを実施し、青少年に声をかけ、非行防止を図ります。					
	キャンペーン 実施回数 ①	平成20年実績	4回	平成26年目標	6回	
	防犯教室 開催回数 ②	平成20年実績	46回	平成26年目標	92回	
	防犯講習会 講演会 開催回数 ③	平成20年実績	20回	平成26年目標	40回	
	連れ去り防止教 室 開催回数 ④	平成20年実績	34回	平成26年目標	40回	
平成24年度 実施状況と評価	<p>7月と12月に子どもの見守りや空き巣、ひったくりなどの刑法犯罪の抑止を目的とした駅前防犯キャンペーンと市内一斉防犯パトロールを防犯協会、警察署並びに関係機関と協力し実施した。青色回転灯を装備した防犯パトカー(委託)による市内巡回において、児童の登下校時刻には通学路等を中心に巡回させ、児童の安全確保を行った。</p> <p>また、毎学期始めの児童登校時刻に合わせ、市が管理する防犯パトカー(防犯課)による通学路等の巡回パトロールを併せて実施し児童の安全確保を行った。</p> <p>防犯支部長をはじめ防犯関係者や市民向けに防犯講演会を開催、また自治会や各種団体を対象に、防犯講話等を実施した。</p> <p>放送を通じて屋外で遊んでいる子どもたちに帰宅を促すとともに、地域の皆さんに子どもたちの帰宅時における安全面での見守りや声掛けをお願いするため、日没時間が早い11月1日から翌年2月末日の期間、午後4時30分に防災行政用無線による『子どもの帰宅を促す放送』を実施した。</p> <p>■平成25年3月末現在実績値 ①4回 ② - ③ 8回 ④ - ※②、④はNo.95「移動防犯活動事業」へ移行</p> <p>【評価】 子育て支援総合計画に掲げる事業については、浦安市防犯計画の目標とする、「市民が安心して生活することができる地域社会の実現」につながることから、浦安市防犯計画の中で市の役割と定めている①情報の発信、②自主防犯活動の支援、③児童の安全対策などの実施内容はおおむね評価できる。</p>					
平成25年度 事業予定と 今後の課題	7年連続で減少を続けていた犯罪認知件数が平成24年は増加したことから、犯罪多発地区などの巡回パトロールの強化等を図り減少を目指す。					